



20周年記念事業 10月16日 シンポジウム開催に向けて

『まちづくり』ワークショップの報告

3月から3カ月に亘り開催されました、久留米大学濱崎教授による『まちづくり』ワークショップはワークショップニュースとして全世帯に配付しました。あらためて今回のワークショップを集約し、その結果見えてきた『美奈宜の杜のまちづくり』の成果や今後の予定を報告します。

○開催運営と参加者

ワークショップの運営:福岡県まちづくり専門家派遣制度により、久留米大学濱崎教授の指導のもと実施しました。

参加者は、総数112名、3回とも全て参加された方は、19名おられました。

○ワークショップのテーマと結果(成果シートは、記念事業の1つとして展示を予定しています)

『愛が芽生えるワークショップ』テーマのもと、「出会い」から「共に歩み始める」まで、参加者が意見を出し合い、現状を確認し、『まちづくり』に向けた意識を確認しました。

- 1、私達の『まちづくり理念』が、人や地域が幸せになる5つの要因と一致していました。
- 2、幸せ5要因を人と地域に分けて質問したら、人より地域に対する評価が低いと分かりました。
- 3、生活を豊かで安心できるものにするための課題は共有できたが、住民の結束した活動が不足しているとの指摘を受けました。

『まちづくり』シンポジウムに向けて

○美奈宜の杜の住民の生活意識調査

久留米大学社会福祉学科濱崎研究室による、アンケート調査(全世帯)と、ヒヤリング調査を7月～8月にかけて実施します。

○シンポジウムのスケジュール

日時: 10月16日(日) 13:30～16:00 会場: 朝倉市民ホール「ピーポート」中ホール

主催: 美奈宜の杜コミュニティ協議会(長寿社会づくりソフト事業交付金による開催)

シンポジスト: 久留米大学文学部学部長 濱崎裕子教授(コーディネーター)、住民代表(予定) 三菱総研プラチナ社会研究所松田智生氏、行政代表、CCRC研究者

区会連絡

☆一斉ノーポイ運動を実施します

7月16日(土)8:30～に一斉ノーポイ運動を実施します。(雨天の場合、翌17日実施)
実施内容は、各街区ごとに区会役員から連絡いたします。

☆地区懇談会の開催ご案内

H28年度の第1回地区懇談会を下記のとおり実施します。

7月 3日(日) 第1街区(5丁目) 10:00～ 文化教室②

7月10日(日) 第2街区(6, 7丁目) //

7月24日(日) 第3街区(1, 2, 3丁目) //

共通報告 ・『まちづくり』推進と20周年記念事業(記念誌発行、シンポジウム開催)について
・健生病院の介護施設計画の状況 ・太陽光発電所建設計画の現状

★住民調査にご協力をお願いします

20周年記念事業として、美奈宜の杜の住民の「生活意識に関する調査」を実施します。この調査は、美奈宜の杜の『まちづくり』推進に活用するため、専門研究機関により実施、分析しますので、皆様のご協力をお願いします。

調査の目的: 美奈宜の杜の住民が、日頃感じておられる、生活に関する様々な意識や意見を調査し、これからの『まちづくり』の推進に役立てます。

調査結果は、20周年記念誌上に報告すると共に、10月開催のシンポジウムの討議資料として使用します。

調査実施者: 久留米大学文学部 社会福祉学科 濱崎裕子教授と研究室の学生

調査の方法: 定住世帯/全住民に向けたアンケート調査
濱崎教授と学生によるヒヤリング調査(サンプリング調査)

調査の時期: アンケート/7月上旬配布し、住民組織役員が回収に伺います。

ヒヤリング/8月9日～12日(予定)に、住民サークルやお宅(抽出先)に、先生や学生さんが伺い、ヒヤリングを実施します。 (20周年記念事業実行委員会)

★非常時の情報確認と対応について

4月の熊本地震は、夜間、深夜に発生したことで、情報が得にくく、またご近所などに相談し難く、不安を抱えたままの夜を送ったとの声が寄せられています。実際、そう感じられた方は他にもおられたのではないのでしょうか。

住民組織は西ビルと相談し、非常時の対応について、以下のようにご案内します。

1) 夜間の対応

- ・西ビルに電話(21-1600)→セコムが対応→対応が必要な場合は、西ビル職員に伝えます。
- ・セコムの場合: 警備機器の非常ボタンを押す→セコムから電話が入ります。
- ・にしけいの場合: 警備機器の非常ボタンを押す→にしけいから電話が入ります。

2) 災害(台風、地震、水害など)の予報が出た場合

朝倉市から出される情報(警報)に基づき、行政、自主防災会、西ビルが連携して対応します。

3) 災害発生時(地震、土砂崩れ、火災など)

行政、自主防災会、西ビルが連携して、避難や救出、消火などに対応します。

☆新入居者のお知らせ

今月はなし



-編集後記- 地震の後の大雨で、地震被災地の皆さんの苦難は、一段と厳しいものとなったことは、容易に想像できます。早く梅雨が明けて、熊本の皆さんの心が晴れる事を祈ります。この街でも、地震の揺れや、先日の大雨で不安を抱えた一夜を過ごされた方は少なくなかったようで、万一の際の安全確保のため、まず住民が出来ることを考えておく必要があります。多くの住民が高齢者であり、自分たち自身で救助や消火活動をする事は、危険が伴います(2次災害の懸念もあります)ので、日頃の準備や早目の対応を心がけることが、基本ではないでしょうか。 (福元記)